

第4回 ユニセフのつどい

世界のともだちと心をつなごう

とき

3月4日(土)

AM11:00 ~ PM2:30

参加費

無料 ただし、事前にお申し込みください

ところ

コープこうべ
生活文化センター 2階ホール
神戸市東灘区田中町5-3-18
JR住吉駅下車、南東へ徒歩約8分
(会場へは下記の案内図をご覧ください)

報告会

プログラム

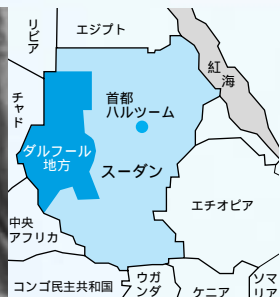
交流の部

スーダン・ダルフール報告会

講師:日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研氏



© UNICEF/HQ04-0264



はたっこ太鼓(和太鼓)



参加者 活動紹介・発表

各テーブルにわかれてインタビュー形式で日ごろ交流のある学校やグループのみなさんに発表いただきます。

ゲーム by ユニーズ

群読「お祭り」

【主催:日本ユニセフ協会兵庫支部 後援:コープこうべ 協賛:神戸YMCA、神戸YWCA】

お申し込み、お問い合わせは兵庫支部まで TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830

ユニセフ写真展『忘れられた子どもたち』

~アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使の
スーダン・ダルフール視察記録~

とき 1月19日~30日
ところ コープこうべ生活文化センター1階展示室

ユニセフカップ2006 神戸パレンティンラプラン

とき 2月12日(日)
ところ ポートアイランド市民広場

第6回 グランシェフ6人の饗宴
神戸6ホテル チャリティーイベント

とき 2月27日(月)
ところ ニューオータニ神戸ハーバーランド

コープこうべ第2地区
サークル活動発表交流会

とき 1月22日(日)
ところ コープカルチャー西宮

コープこうべ第1地区
ふれあいフェスタ

とき 2月11日(祝)
ところ コープカルチャー宝塚

コープこうべ第3地区
コープフェスティバル

とき 3月11日(土)
ところ コープこうべ生活文化センター

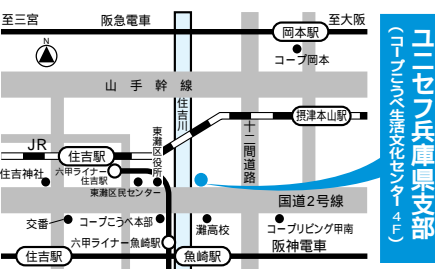
あとがき

この冬は寒さがひと足早くやって来たようです。ひとひとりがつながること、その温かさに改めて感謝したいと思います。2006年、良いニュースを一つでも多くお届けすることが出来ますように...。今年もよろしくお祈りします。(K)

Wish Vol.15号(2006年冬)
ユニセフ兵庫ニュース

2006年(平成18年)1月発行(季刊)
発行:(財)日本ユニセフ協会 兵庫支部
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830
(平日の10時~16時)

案内図 JR住吉駅下車、南東へ徒歩約8分



本紙は古紙100%の再生紙を使用しています。

Wish

ユニセフ兵庫ニュース

UNITE FOR CHILDREN
UNITE AGAINST AIDS



© UNICEF/HQ04-1218/Vitale © UNICEF/HQ98-0911/Pirozzi

unicef

(財)日本ユニセフ協会
兵庫県支部

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL.078-435-1605 FAX.078-451-9830
ホームページ
http://www.office-bit.com/unicef-hyogo

日本ユニセフ協会兵庫支部は、2002年の設立からみなさんの温かいご支援に支えられ、5年目の新しい年を迎えることができました。学校、団体、企業をはじめとするみなさまのご協力に心から感謝申し上げます。

21世紀が始まり5年が過ぎ、戦後60年が経過した今、改めて「いのち」の尊さを感じています。平和で「子どもにふさわしい世界」の実現がいかに困難なものなのか。世界の紛争地で、途上国で、健康に生き延びることは、希望ある未来への第一歩とはいえ、子どもたちにとって「生きていくこと」は決して平坦な道のりではありません。

ユニセフが活動を通じて子どもたちに託そうとしているもの、それは「困難をのりこえ、自分たちの手で未来を切り開いていく力」。それを実現するために、教育があると信じています。

子ども・未来
いっしょに

2005年から始まった「子どもとエイズ」世界キャンペーン。これを機に、「とおい国、アフリカ」を身近に感じることができれば。まずは知ることから。私たちの目に触れることなく、静かに命を落としていく子どもたち、ともすれば報道の陰に隠れている「現実」に、みなさんといっしょに目を向けていきたいと願っています。

みなさまからのあたたかいご理解とご支援こそが、ユニセフの取り組みを可能にします。世界の子どもたちの笑顔のために、ユニセフの活動にこれからもよろしくお祈りいたします。



日本ユニセフ協会
兵庫県支部
会長 竹本 成徳



Hand-in-Hand 2005 垂水会場

西宮会場

三宮会場

垂水会場

JR垂水駅でのユニセフ募金は、寒風の中での2時間は大変でしたが、若い学生のみなさんといっしょにできたことは大変嬉しかった。信号待ちで呼びかける時に、子どもさんのいる方の多くは募金をしてくださった。心あたたま。呼びかけとして「ユニセフ+子ども」のことを伝えると募金される方が多かった。



寒かったです、楽しかったです。人の気持ち嬉しかった。もっとたくさんの人にユニセフのこと知ってもらえたらと思います。

また参加したい。めちゃくちゃ寒かったのですが、たくさんの方が募金してくれて。声をかけてくれて嬉しかった。

寒かったけれど、募金して下さった方々の温かい心で温まりました。

西宮会場

前に参加したときは、中年男性が私一人だったのですが、今回は多くおられたので安心しました。大きな声を出せたので気持ちよかったです。



元町会場

はじめて募金活動をして、募金をしてくれたときにすごく嬉しく思いました。今まで募金活動をしているのを見てなんとなく恥ずかしくてできませんでした。でも、自らしてみようと思えました。

身の引き締まる心と感情がわきました。温かいご協力が感謝が一層増しました。

今日は楽しい一日をありがとうございました。おかげさまで今夜は暖かい晩酌が楽しみです。

今回初めて参加したけど、募金をしてくれる人がすごく少なく感じました。やっぱり大変なんだということを実感しました。実際にやってみると寒くて大変だし他にも募金している人の気持ちがわかりました。これから募金活動をしている人を見かけたら、するようになると思います。

初めて参加した。募金活動はよく見かける光景ですが、よく素通りしてしまっていました。ですから、金額に関係なく募金してくれるという行為がすごく嬉しいです。これから私も積極的に募金しようと思いました。



12月23日

ユニセフ街頭募金「ハンド・イン・ハンド」交流の輪広がる

恒例のユニセフ街頭募金「ハンド・イン・ハンド」を12月23日に実施。前日がこの冬一番の厳しい寒さのため、一部中止せざるをえない会場もありましたが、新しく垂水会場も加わり実施することができました。晴天とはいえ頬にあたる風はとて冷たく感じられましたが、2005年もまたたくさんの方々から温かいご厚意をいただくことができました。

できました。実施にあたりユニセフから「なに」を伝えたいのか、事前に学習、参加者で共有したり、毎年続けて参加いただく方が増えていることも大きな成果です。今年は5会場で約80名のボランティアさんに参加いただき、181,649円の募金をいただきました。



住吉会場

極寒の中でのハンド・イン・ハンドになったけど、2時間あっという間でした。事前に呼びかけのフレーズを考えてどんなことを街の人に知って欲しいか、みんなで話し合ったので、何回も同じフレーズをいうことがイヤになりませんでした!

「ハンド・イン・ハンド」に初めて参加しましたが、けっこうやっていて手ごたえがありました。寒い日だったので、道行く人に寒いで生活する貧困の子どもたちのこ



とも理解していただきやすかったと思います。23日も朝から寒かったが、11時~13時まで人通りは絶えることなく、たくさんの方が募金の呼びかけに応じてくださいました。呼びかけの音が大きかったのか「近くのマンションまで声が響いてきたので、お金を入れにきたよ」とわざわざ来ていただいた方もありました。今年は呼びかけの内容が工夫されていて、世界の子どもの現状を短いことばでわかりやすく伝えることができたのが良かったと思いました。

三宮会場

世界の貧困や危機について考えたときに、それはみなこの地球上で生きている人間全てに責任のあることだと考える。そこにいて自分自身の手で今回の活動に参加することによって少しでもその責任を果たすことが出来たことをたいへん嬉しく思う。

また、当日の様子としてももう少しパフォーマンスのようなことで遠くにいる人々の注目をも集めたり出来たら、もっと有意義なものになったのではないのでしょうか。遠くからでもユニセフと一目で分かるようなポスター・スピーカー使用・子ども達をひきつけるような着ぐるみ等。今回微力ながら、参加させていただけたことを有難く思っております。



ご意見もいただきました

私は今回初めての募金活動参加だったので、以下は歩行者の視点に近い意見ではないかと思う。

全部で2時間の募金活動中、前半1時間はボーイスカウトの子ども達、後半1時間は大人のみであったが、子どもが活動した前半と大人のみが活動した後半とでは集められた金額は圧倒的に前半が多い。街頭での募金活動の目的は文字通り募金世界の現状、その中でユニセフの役割・活動等のPRだと思うが、それを効率良く行うには、を子ども達に、を大人にと役割分担をするのが良いのではないかと感じた。今回の場合で考えると、子ども達は1時間しかないという事だったので前半は子ども達が募金活動、後半の大人は募金はあまり見込めないものでそれはサブとして、主にはユニセフのPRをしたら良かったと思う。PRは拡声器等使用し今準備した短い文章ではなく、割と長い目の文章で筋道立った文章が良い。すぐに通り過ぎるのだからそんな長い文章聞いてくれないと思われるかもしれないが、信号で停まっている時など結構長い間耳に入る。内容としては、世界の現状だからユニセフは何をしているのか、何円で何人を助けられるかなどストーリー立てて募金の必要性、活動の必要性を訴える。また、何円で何人を助けられるかなど具体的な数字を入れた方が解りやすいと思う。(中略)

募金活動に参加する人も貴重な時間を割いて参加している。それぞれの向き不向きを有効に活かし、ユニセフにも参加者にも有意義な活動であるのが一番良いのではないかと思いました。

パキスタン緊急募金を実施

10月26日(水)・27日(木)、神戸市東灘区のJR住吉駅付近で、「パキスタン地震緊急募金」を実施。これは10月8日に起こった大地震を支援しようとしたものです。寒さの中、学校にも行けずに震えている子どもたち、少しでも笑顔がもどることを願っています。



きょうどう学苑祭2005

10月30日(日)、三木市志染町のコープこうべ協同学苑で開催された受講生の作品展・発表会「きょうどう学苑祭」に出展参加しました。



ふれあいフェスティバル2005

10月29日(土)・30日(日)に、新しく完成した三木総合防災公園で兵庫のまつり「ふれあいフェスティバル2005」が行われました。県支部ではカード・グッズの頒布やポスター展示などの広報活動を行いました。



真淵早百合さん(県支部学生ボランティア・ユニース) インドネシア報告会

10月15日(土)、コープこうべ生活文化センター西館会議室で、スライドも交えながら報告いただきました。ユニセフ現地事務所の貴重な現場からの話や、友人の結婚式の楽しい様子など、生のニュースを知ることができ、質問も次々飛び出す楽しい報告会となりました。



コープ・ユニセフ スマトラ沖地震・津波復興支援募金キャンペーン

「これからの国際協力支援活動を考えるつどい」に参加

11月4日(金)、兵庫県民会館9階ホールで兵庫県生協連・日本生協連主催の「これからの国際協力支援活動を考えるつどい」が開催されました。ユニセフ東アジア・太平洋地域事務所緊急救援計画担当の西嶋礼子さんによるスマトラでの現地支援報告があり、続いて行われたミニパネルディスカッションでは、CODE 海外災害援助市民センターの飯塚明子さんからのスリランカでの漁協設立の取り組みなどが紹介され、現地住民の自立に向けた支援活動の大切さが話し合われました。

県支部では、紙芝居『井戸ができた』をマベット人形のユニックとエフ君の案内でスライドにして紹介しました。



毎月W日は生活文化センターのロビー喫茶カード頒布日です

「トライやる・ウィーク」でユニセフ体験学習

神戸市立鷹取中学校2年生の大塚智己くんが職場体験学習「トライやる・ウィーク」で、11月7日から11日まで県支部を訪れ、ボランティアとともにユニセフの取り組みや県支部の活動などを体験しました。



コープこうべ第3地区ボランティア交流会

11月19日(土)、コープこうべのエリア再編で、新しく第3地区の仲間になった福祉分野のサークル交流会にユニセフも出展参加。



あいめっせフェスティバル2005

11月19日~20日、姫路市で行われたイベントに昨年に引き続き参加。地雷や活動紹介の展示のほか、紙芝居の上演も行いました。「姫路市医師会看護専門学校」で開催された文化祭での募金をユニセフコーナーにいただきました。



募金をいただきました、ありがとうございます

コープこうべ定時職員協議会からパキスタン緊急募金をいただきました。



12/12(月)チャリティーイベント「まい金館トークショー」(新神戸オリエンタルホテル)

チャリティーオークションなどでの収益をユニセフ募金にいただきました。

南あわじ市・成人式の会場で新成人がユニセフ募金

南あわじ市では、新市初の成人式が1月8日(日)、新成人たちの自主企画で行われ、式典会場で新成人たちによって集められたユニセフ募金が、あたたかい気持ちとともに県支部に届けられました。



兵庫県立上郡高校生徒会からの学内募金

毎年ユニセフ協力活動を行っていましたが、今年度から生徒会で取り組み、文化祭のバザー収益のほか「パキスタン緊急募金」を呼びかけ、ユニセフにご協力いただきました。



川本さん・ホンジュラスでの今

ホームステイ先の田舎町から首都にはじめてバスに乗って出かけた時の出来事。超満員で2人席が3人掛けになり、みんなでつめあいつこ。とてもおもしろかった。日本ではありえない光景で毎日が新しいことがいっぱい。悩んだり、発見があったりと楽しい!! というよ先、充実していると感じています。



川本朋子さん(ユニースOB)は、『Wish13号』の特集/インド報告でもお知らせしたように、昨年12月から、JICA青年海外協力隊員として中米ホンジュラスに赴任。現地からの折々の便りをお届けします。(県支部事務局より)

神戸市立千鳥が丘小学校での学習会



今回はじめて講師を務めた平村さん。「学習会を機に、子どもたちがこれから成長していく中でユニセフの活動に少しでも関わっていく子が増えれば、今回一番教えられたのは自分自身だった気がします。」

* ご協力ください *

ユニセフ募金

~ご家庭で学校で職場で~

いただきました募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部、そしてユニセフ現地事務所を通じて世界の子どもの支援活動に使われます。

郵便振替でお願いします

口座番号:00190-5-31000

加入者名:(財)日本ユニセフ協会

通信欄に「K1-280兵庫」とご記入ください。

会員って ユニセフ協力活動を行なう日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。

一般会員...個人ならどなたでも1口 5,000円

学生会員...18歳以上の学生 1口 2,000円

団体会員...団体、法人、企業 1口100,000円

申込み方法についてはお問い合わせください。

緊急募金のお願い

- パキスタン地震緊急募金**
郵便振替:00110-5-79500(送金手数料免除)
通信欄に「パキスタン K1-280兵庫」と記入
 - スーダン・ダルフル緊急募金**
郵便振替:00190-5-31000
通信欄に「スーダン K1-280兵庫」と記入
 - アフガニスタン復興募金**
郵便振替:00190-5-31000
通信欄に「アフガニスタン K1-280兵庫」と記入
 - アフリカ緊急募金**
郵便振替:00190-5-31000
通信欄に「アフリカ K1-280兵庫」と記入
- 【共通】口座名義:財団法人日本ユニセフ協会
募金は郵便局指定の振込用紙をご利用の上、上記口座までお振込みください。

ボランティア募集

世界の子どものこと知りたいと思いませんか?学習会、イベント参加、カード頒布、事務局運営、広報など、関わり方はいろいろあります。若者たち(高校生~大学生)のグループUNIESも誕生しました。活動を通じていろいろな人たちとの出会いが広がります。一度のぞいてみてください。

学習会 イベント参加 カード頒布

事務局運営 広報

ユニセフ写真展 2005年12月6日~16日

『危機にさらされる子どもたち』を開催しました



「困難な状況の中で生きる子どもたちを守るために、私たちに今、何ができるのか」。アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使が、ヨーロッパの最貧国モルドバと戦争直後のイラクで出会った子どもたちの写真を通して訴えました。

期間中、朝日新聞で「トライやる記者」を体験中の中学生が写真展を「体験取材」に訪れました。



11/13(日) 筒井公園
ろっこう医療生協・健康まつり
11/13(日)ユニセフカップ2005
2005西宮国際ハーフマラソン
阪神甲子園付近および武庫川河川敷コース

